

大英博物館古代エジプト展

イギリスの大英博物館は、世界屈指の文化遺産の宝庫として世界中に知られている。その中には、ロゼッタ・ストーンをはじめとする、古代エジプトに関連する資料が大量に所蔵されている。今回は、この大英博物館が所蔵する古代エジプトコレクションの中から、ミイラやそれに関連する葬送儀礼に関わる資料約150点により、古代エジプト文明の本質に迫った。

古代エジプトの人々は、独特の死生観を持っていた。それは、人の死は肉体の死であって死後に魂は神の審判をへて、復活すると信じられていた。そのため死後の肉体を保存する（ミイラ作り）技術が発達することになったともいえる。今回は、このような古代エジプトの死生観に基づいた資料であるミイラや、それに関連する葬送儀礼の資料を中心に、これまで、日本ではあまり体系だって紹介されることのなかった、古代エジプトの人々の精神世界を紹介する絶好の機会となった。



※この図録は現在当館では扱っておりません。

会期／平成11年10月23日（土）～12月26日（日）

会場／特別展示室1、特別展示室2、南蛮美術館室

主催／神戸市立博物館、大英博物館、NHK神戸放送局

NHKきんきメディアプラン、朝日新聞社

後援／外務省、文化庁、英国大使館、ブリティッシュ、カウンシル、兵庫県教育委員会

協賛／凸版印刷株式会社、山九株式会社

協力／日本航空

開催日数／56日

入館者数／409, 017人

出品件数／208点